

橋梁補修工

断面修復工(左官工法)

レベル1 (工事区分)	橋梁保全工事	レベル2 (工種)	橋梁補修工
----------------	--------	--------------	-------

数 量 集 計 表

レベル3 (種別) レベル4 (細目)	レベル5 (規格)	レベル6 (積算要素)	積算用 単位	数 量 区 分					当初設計		内 訳 数量表 別 紙	備 考
									合計			
断面修復工												
左官工法	鉄筋ケレン・防錆処理を含む		構造物	1 構造物当り修復延べ体積					1	1.00		
				0.1 m3 未満						1.00		
	断面修復工 施工体積		m3						0.03	0.03		
										0.03		
	補修材 .1	ポリマーセメント系モルタル $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 以上	m3						0.03	0.03		
										0.03		
	殻運搬		m3	殻発生作業	コンクリート殻の種類				0.03	0.03		
				コンクリート構造物とりこわし	無筋コンクリート					0.03		
				ダンプトラック	積込工法区分	DID区間の有無	タイヤ消耗費	運搬距離				
				2 t 積級	人力積込	無し	良好	14.4km以下				
	殻処理		m3	殻発生作業	コンクリート殻の種類				0.03	0.03		
				コンクリート構造物とりこわし	無筋コンクリート					0.03		
	殻処理		t	殻発生作業	コンクリート殻の種類				0.07	0.07		
				コンクリート構造物とりこわし	無筋コンクリート					0.07		

種別:断面修復工			数 量 計 算 書					No.1	
種別・細別	形状・規格	数量	単位	算 出 基 礎					備 考
左官工法	施工体積	0.03	m3						
	鉄筋ケレン・防錆処理を含む			< 地覆:Zs① >	0.185×0.030	=	0.01		
				< 地覆:Zs② >	0.090×0.050	=	0.01		
				< 地覆:Zs③ >	0.017×0.020	=	0.01		
					合計	=	0.03		
	補修材 .1	0.03	m3						
	ポリマーセメント系モルタル σ ck=24N/mm2以上			< 地覆:Zs① >	0.175×0.030	=	0.01		
				< 地覆:Zs② >	0.090×0.050	=	0.01		
				< 地覆:Zs③ >	0.017×0.020	=	0.01		
					合計	=	0.03		
殻運搬	コンクリート殻	0.03	m3						
	無筋			< 断面修復 >	0.03	=	0.03		
					合計	=	0.03		
殻処分	コンクリート殻	0.03	m3						
	無筋	0.07	t	< 断面修復 >	0.03	=	0.03		
					合計	=	0.03		

断面修復面積の算出						
番号	損傷	損傷断面			修復断面	備 考
		幅 (mm)	長さ (mm)	面積 (m2)	面積 (m2)	
	鉄筋露出			0.09	0.090	地覆:Zs②
	浮き・剥離	500	350		0.175	地覆:Zs①
	剥離	100	100		0.010	地覆:Zs①
	鉄筋露出	50	50		0.003	地覆:Zs③
	鉄筋露出	50	50		0.003	地覆:Zs③
	鉄筋露出	50	50		0.003	地覆:Zs③
	鉄筋露出	150	50		0.008	地覆:Zs③
全修復面積合計					0.292	
修復面積内訳					0.185	地覆:Zs①
修復面積内訳					0.090	地覆:Zs②
修復面積内訳					0.017	地覆:Zs③
修復面積内訳						-
修復面積内訳						-

橋梁補修工

橋面保護工

レベル1 (工事区分)	道路維持修繕工事	レベル2 (工種)	橋梁補修工
----------------	----------	--------------	-------

数量集計表

レベル3 (種別) レベル4 (細目)	レベル5 (規格)	レベル6 (積算要素)	積算用 単位	数量区分					当初設計		内 訳 数量表 別 紙	備 考
									合計			
表面保護工												
表面被覆工	下地処理		m2	高所作業車	高所作業車	1 現場当たりの対象面積	時間的制約		0.3	0.28		
				無し	—	100 m2 未満	無し			0.28		
	はく落防止材 (NAV-G工法)		m2	高所作業車	高所作業車	1 現場当たりの対象面積	時間的制約		0.3	0.28		
				無し	—	100 m2 未満	無し			0.28		
	製品数量	NAVレジン1 5 kg/セット	セット	材料の種別	使用量(参考)	設計数量			1	1.00		
				プライマー	0.2 kg/m2(NAVレジン1)	0.06kg				1.00		
				材料の種別	使用量(参考)	設計数量						
				上塗り	0.2 kg/m2(NAVレジン1)	0.06kg						
	製品数量	NAVレジン2 5 kg/セット	セット	材料の種別	使用量(参考)	設計数量			1	1.00		
				下塗り	0.4 kg/m2(NAVレジン2)	0.11kg				1.00		
	製品数量	NAV-Gシート 100cm × 100m/枚	枚	設計数量					1	1.00		
				0.28m2						1.00		

種別:表面被覆工

数 量 計 算 書

No.1

種別・細別	形状・規格	数量	単位	算 出 基 礎			備 考
表面被覆工	はく落防止材	0.28	m2				
	(NAV-G工法)			＜ 面積 ＞	$(0.200+0.050) \times (0.200+0.050) \times 3$	=	0.19
				＜ 面積 ＞	$(0.200+0.050) \times (0.200+0.150)$	=	0.09
						合計	= 0.28
	プライマー 0.2 kg/m2	0.06	kg				
	(NAVレジン1)			＜ 設計数量 ＞	0.28×0.2	=	0.06
	下塗り 0.4 kg/m2	0.11	kg				
	(NAVレジン2)	1	缶	＜ 設計数量 ＞	0.28×0.4	=	0.11
	製品 5 kg/セット			＜ 製品数量 ＞	$0.11 \div 5$	=	0.02
	シート	0.28	m2				
	(NAV-Gシート)	1	枚	＜ 設計数量 ＞	0.28×1	=	0.28
	100cm×100m/枚			＜ 製品数量 ＞	$0.28 \div (0.100 \times 100)$	=	0.03
	上塗り 0.2 kg/m2	0.12	kg				
	(NAVレジン1)	1	缶	＜ 設計数量 ＞	$0.28 \times 0.2 + 0.06$	=	0.12
	製品 5 kg/セット			＜ 製品数量 ＞	$0.12 \div 5$	=	0.12

橋梁付属物工

防護柵補修

レベル1 (工事区分)	橋梁保全工事	レベル2 (工種)	橋梁付属物工
----------------	--------	--------------	--------

数量集計表

レベル3 (種別) レベル4 (細目)	レベル5 (規格)	レベル6 (積算要素)	積算用 単位	数量区分					当初設計		内 訳 数量表 別 紙	備 考
									合計			
防護柵補修												
鋼材切断	角型鋼管 t=3.2mm		m						4	4.00		
										4.00		
鋼材			式						0	0.00		
橋名板設置			箇所						3	3.00		
										3.00		
現場溶接	すみ肉溶接 s=6mm		m						8	8.00		
										8.00		
現場発生品運搬	鋼材(既設防護柵)		t	発生品の種別					0.2	0.21		
				鋼材						0.21		
				クレーン装置付トラック機種	荷台長・荷台幅	DID区間の有無	タイヤ消費費	運搬距離				
				2t 積 2t 吊	L=3.0m・W=1.6m	無し	良好	17.0km以下				

レベル1 (工事区分)	橋梁保全工事	レベル2 (工種)	橋梁付属物工
----------------	--------	--------------	--------

数量集計表

レベル3 (種別) レベル4 (細目)	レベル5 (規格)	レベル6 (積算要素)	積算用 単位	数量区分					当初設計		内 訳 数量表 別 紙	備 考
									合計			
防護柵補修												
小規模コンクリート はつり工			m3	平均はつり厚					0.09	0.09		
				3cmを超え6cm以下						0.09		
コンクリート (モルタル)工	無収縮モルタル σ ck=24N/mm2以上		m3	構造物種別	打設工法	養生工の種類	現場内小運搬の有無	補修材	0.09	0.09		
				小型構造物	人力打設	一般養生	有り	無収縮モルタル		0.09		
殻運搬	コンクリート殻		m3	殻発生作業	コンクリート殻の種類				0.09	0.09		
				コンクリート構造物とりこわし	無筋コンクリート					0.09		
				ダンプトラック	積込工法区分	DID区間の有無	タイヤ消耗費	運搬距離				
				2 t 積級	人力積込	無し	良好	14.4km以下				
殻処理	コンクリート殻		m3	殻発生作業	コンクリート殻の種類				0.09	0.09		
				コンクリート構造物とりこわし	無筋コンクリート					0.09		
	単位質量 (2.35t/m3)		t	殻発生作業	コンクリート殻の種類				0.21	0.21		
				コンクリート構造物とりこわし	無筋コンクリート					0.21		

種別:防護柵補修

数 量 計 算 書

No.1

種別・細別	形状・規格	数量	単位	算 出 基 礎				備 考
鋼材切断	角型鋼管 t = 3.2mm	4.00	m	< 延長 >	$((0.125+0.075) \times 2 + 0.075 \times 4 \times 2) \times 2$	=	2.00	L3~L6
				< 延長 >	$(0.125+0.075) \times 2 + 0.075 \times 4 \times 2$	=	1.00	L10~End
				< 延長 >	$(0.125+0.075) \times 2 + 0.075 \times 4 \times 2$	=	1.00	End~R1
					合計	=	4.00	
鋼材	□125x 75x3.2 (STKR400)	74.82	kg					
	□ 75x 75x3.2 (STKR400)	88.32	kg	< 鋼重 >	$9.52 \times 4.630 \times 1$	=	44.08	□125x 75x3.2
	□100x100x4.5 (STKR400)	32.43	kg	< 鋼重 >	$7.01 \times 1.390 \times 4$	=	38.98	□ 75x 75x3.2
	鋼板 Pl t = 8mm (SM400A)	13.73	kg	< 鋼重 >	$7.01 \times 1.650 \times 2$	=	23.13	□ 75x 75x3.2
	鋼板 Pl t = 6mm (SM400A)	45.67	kg	< 鋼重 >	$13.1 \times 0.825 \times 2$	=	21.62	□100x100x4.5
	合計	254.97	kg	< 鋼重 >	$0.140 \times 0.008 \times 0.140 \times 7850 \times 2$	=	2.46	Pl t=8
				< 鋼重 >	$0.222 \times 0.006 \times 0.210 \times 7850 \times 4$	=	8.78	Pl t=6
				< 鋼重 >	$0.172 \times 0.006 \times 0.210 \times 7850 \times 8$	=	13.61	Pl t=6
					小計	=	152.66	
				< 鋼重 >	$9.52 \times 0.130 \times 1$	=	1.24	□125x 75x3.2
				< 鋼重 >	$9.52 \times 0.700 \times 1$	=	6.66	□125x 75x3.2
				< 鋼重 >	$9.52 \times 0.555 \times 1$	=	5.28	□125x 75x3.2
				< 鋼重 >	$7.01 \times 0.130 \times 2$	=	1.82	□ 75x 75x3.2
				< 鋼重 >	$7.01 \times 0.625 \times 2$	=	8.76	□ 75x 75x3.2
				< 鋼重 >	$0.075 \times 0.006 \times 0.125 \times 7850 \times 1$	=	0.44	Pl t=6
				< 鋼重 >	$0.222 \times 0.006 \times 0.210 \times 7850 \times 2$	=	4.39	Pl t=6
				< 鋼重 >	$0.172 \times 0.006 \times 0.210 \times 7850 \times 4$	=	6.81	Pl t=6
				< 鋼重 >	$0.160 \times 0.008 \times 0.500 \times 7850 \times 1$	=	5.02	Pl t=8
					小計	=	40.42	

種別:防護柵補修

数 量 計 算 書

No.2

種別・細別	形状・規格	数量	単位	算 出 基 礎				備 考
鋼材				< 鋼重 >	$9.52 \times 0.700 \times 1$	=	6.66	□125x 75x3.2
				< 鋼重 >	$9.52 \times 0.590 \times 1$	=	5.62	□125x 75x3.2
				< 鋼重 >	$9.52 \times 0.555 \times 1$	=	5.28	□125x 75x3.2
				< 鋼重 >	$7.01 \times 0.625 \times 2$	=	8.76	□ 75x 75x3.2
				< 鋼重 >	$7.01 \times 0.250 \times 2$	=	3.51	□ 75x 75x3.2
				< 鋼重 >	$7.01 \times 0.240 \times 2$	=	3.36	□ 75x 75x3.2
				< 鋼重 >	$13.1 \times 0.825 \times 1$	=	10.81	□100x100x4.5
				< 鋼重 >	$0.140 \times 0.008 \times 0.140 \times 7850 \times 1$	=	1.23	Pl t=8
				< 鋼重 >	$0.075 \times 0.006 \times 0.125 \times 7850 \times 1$	=	0.44	Pl t=6
				< 鋼重 >	$0.222 \times 0.006 \times 0.210 \times 7850 \times 2$	=	4.39	Pl t=6
				< 鋼重 >	$0.172 \times 0.006 \times 0.210 \times 7850 \times 4$	=	6.81	Pl t=6
				< 鋼重 >	$0.160 \times 0.008 \times 0.500 \times 7850 \times 1$	=	5.02	Pl t=8
					小計	=	61.89	
					鋼材合計	=	254.97	
普通ボルト	M10x15	4.00	本	< 本数 >	$2+2$	=	4.00	
現場溶接	すみ肉溶接 s=6mm	8.00	m	< 延長 >	$((0.125+0.075) \times 2 \times 2 + 0.075 \times 4 \times 2 \times 2) \times 2$	=	4.00	L3~L6
				< 延長 >	$(0.125+0.075) \times 2 \times 2 + 0.075 \times 4 \times 2 \times 2$	=	2.00	L10~End
				< 延長 >	$(0.125+0.075) \times 2 \times 2 + 0.075 \times 4 \times 2 \times 2$	=	2.00	End~R1
					合計	=	8.00	

種別:防護柵補修

数 量 計 算 書

No.3

種別・細別	形状・規格	数量	単位	算 出 基 礎				備 考
現場発生品処分	鋼材(防護柵)	211.11	kg					
		0.21	t	＜ 鋼重 ＞	9.52×4.650×1	=	44.27	□125x 75x3.2
				＜ 鋼重 ＞	7.01×1.400×4	=	39.26	□ 75x 75x3.2
現場発生品運搬	鋼材(防護柵)	211.11	kg	＜ 鋼重 ＞	7.01×1.650×2	=	23.13	□ 75x 75x3.2
		0.21	t	＜ 鋼重 ＞	13.1×0.825×2	=	21.62	□100x100x4.5
				＜ 鋼重 ＞	0.140×0.008×0.140×7850×2	=	2.46	Pl t=8
					小計	=	130.74	
				＜ 鋼重 ＞	9.52×0.140×1	=	1.33	□125x 75x3.2
				＜ 鋼重 ＞	9.52×0.700×1	=	6.66	□125x 75x3.2
				＜ 鋼重 ＞	9.52×0.555×1	=	5.28	□125x 75x3.2
				＜ 鋼重 ＞	7.01×0.140×2	=	1.96	□ 75x 75x3.2
				＜ 鋼重 ＞	7.01×0.625×2	=	8.76	□ 75x 75x3.2
				＜ 鋼重 ＞	0.075×0.006×0.125×7850×1	=	0.44	Pl t=6
				＜ 鋼重 ＞	0.160×0.008×0.500×7850×1	=	5.02	Pl t=8
					小計	=	29.45	
				＜ 鋼重 ＞	9.52×0.700×1	=	6.66	□125x 75x3.2
				＜ 鋼重 ＞	9.52×0.600×1	=	5.71	□125x 75x3.2
				＜ 鋼重 ＞	9.52×0.555×1	=	5.28	□125x 75x3.2
				＜ 鋼重 ＞	7.01×0.625×2	=	8.76	□ 75x 75x3.2
				＜ 鋼重 ＞	7.01×0.250×4	=	7.01	□ 75x 75x3.2
				＜ 鋼重 ＞	13.1×0.825×1	=	10.81	□100x100x4.5
				＜ 鋼重 ＞	0.140×0.008×0.140×7850×1	=	1.23	Pl t=8
				＜ 鋼重 ＞	0.075×0.006×0.125×7850×1	=	0.44	Pl t=6
				＜ 鋼重 ＞	0.160×0.008×0.500×7850×1	=	5.02	Pl t=8
					小計	=	50.92	
					鋼材合計	=	211.11	

種別:防護柵補修

数 量 計 算 書

No.4

種別・細別	形状・規格	数量	単位	算 出 基 礎			備 考
小規模コンクリートはつり工	下向き	0.09	m3	＜ 施工体積 ＞	$0.200 \times 0.300 \times 0.500 \times 3$	=	0.09
コンクリート工	無収縮モルタル σ ck=24N/mm2以上	0.09	m3	＜ 施工体積 ＞	$0.200 \times 0.300 \times 0.500 \times 3$	=	0.09
殻運搬	コンクリート殻 無筋	0.09	m3	＜ 施工体積 ＞	$0.200 \times 0.300 \times 0.500 \times 3$	=	0.09
殻処分	コンクリート殻 無筋(単位質量=2.35t/m3)	0.09	m3				
		0.21	t	＜ 施工体積 ＞	$0.200 \times 0.300 \times 0.500 \times 3$	=	0.09

現場塗装工

橋梁塗替塗装

(素地調整:オーブンブラスト工法)

レベル1 (工事区分)	橋梁保全工事	レベル2 (工種)	橋梁補修工
----------------	--------	--------------	-------

数 量 集 計 表

レベル3 (種別) レベル4 (細目)	レベル5 (規格)	レベル6 (積算要素)	積算用 単位	数 量 区 分					当初設計		内 訳 数量表 別 紙	備 考
									合計			
現場塗装工												
橋梁塗装工	塗替塗装		m2	塗装仕様					9.70	9.65	1-1	
				Rc-Ⅲ						9.65		
現場発生品 回収・積込	研削材＋塗膜くず		m2	殻発生作業	発生品の種別				9.7	9.65		
				素地調整	研削材及びケレンかす					9.65		
現場発生品運搬	研削材＋塗膜くず 40 kg/m2×面積 =重量		t	殻発生作業	発生品の種別	研削材標準質量			0.4	0.39		
				素地調整	研削材及びケレンかす	40				0.39		
				クレーン装置付トラック機種	1回当たり平均積載質量	DID区間の有無	タイヤ消耗費					
				2t 積 2t 吊	0.3 t 超 0.5 t 以下	無し	良好					
	研削材＋塗膜くず		回	殻発生作業	発生品の種別	研削材標準質量			1	1.00		
				素地調整	研削材及びケレンかす	40				1.00		
				クレーン装置付トラック機種	1回当たり平均積載質量	DID区間の有無	タイヤ消耗費					
				2t 積 2t 吊	0.3 t 超 0.5 t 以下	無し	良好					
現場発生品処分	研削材＋塗膜くず 40 kg/m2×面積 =重量		t	殻発生作業	発生品の種別	研削材標準質量			0.4	0.39		
				素地調整	研削材及びケレンかす	40				0.39		

レベル1 (工事区分)	橋梁保全工事	レベル2 (工種)	仮設工
----------------	--------	--------------	-----

数量集計表

レベル3 (種別) レベル4 (細目)	レベル5 (規格)	レベル6 (積算要素)	積算用 単位	数量区分					当初設計		内訳 数量表 別紙	備考
									合計			
環境対策工												
防塵対策	プラスト用養生シート		式						1	1.00	1-2	
										1.00		
	クリーンルーム 1.50 m x 2.0 m L = 4.5 m		台						1	1.00		
										1.00		

内 訳 数 量 表

1-1 橋梁塗装工数量表				
名 称	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	備 考
素地調整 3 種		m2	9.7	Rc-Ⅲ
下塗り 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200 (g/m2)	m2	9.7	Rc-Ⅲ
下塗り 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200 (g/m2)	m2	9.7	Rc-Ⅲ
下塗り 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200 (g/m2)	m2	9.7	Rc-Ⅲ
中塗り 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140 (g/m2)	m2	9.7	Rc-Ⅲ
上塗り 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120 (g/m2)	m2	9.7	Rc-Ⅲ

内 訳 数 量 表

1-2 防塵対策数量表				
名 称	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	備 考
ﾌﾟﾗｽﾄ施工日数		日	1	
必要送風量		m3/min	20	
集塵排気装置（防塵）用 1 次ﾌｨﾙﾀｰ		枚	1	
集塵排気装置（防塵）用HEPAﾌｨﾙﾀｰ		枚	1	
真空掃除機		ヶ月	1	
真空掃除機 1 次ﾌｨﾙﾀｰ		枚	1	
真空掃除機HEPAﾌｨﾙﾀｰ		枚	1	
エアｼｬｰ装置		ヶ月	1	
エアｼｬｰ装置用 1 次ﾌｨﾙﾀｰ		枚	1	
エアｼｬｰ装置用HEPAﾌｨﾙﾀｰ		枚	1	
防護服		着	6	
ｼｭｰｽﾞｶﾊﾞｰ		個	6	
防護手袋		組	6	

種別:橋梁塗装工

数 量 計 算 書

No.2

種別・細別	形状・規格	数量	単位	算 出 基 礎			備 考
塗替塗装	Rc-Ⅲ						
	素地調整 3種		＜ 防護柵 ＞	$(0.125+0.075) \times 2 \times 1.450 \times 1$	=	0.58	End～R1
	下塗り		＜ 防護柵 ＞	$(0.075+0.075) \times 2 \times (1.450-0.100-0.075) \times 2$	=	0.77	End～R1
	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗		＜ 防護柵 ＞	$(0.125+0.075) \times 2 \times 0.555 \times 1$	=	0.22	End～R1
	下塗り		＜ 防護柵 ＞	$0.125 \times 0.075 \times 1 \times 1$	=	0.01	End～R1
	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗		＜ 防護柵 ＞	$(0.100+0.100) \times 2 \times 0.625 \times 1$	=	0.25	End～R1
	下塗り		＜ 防護柵 ＞	$0.160 \times 0.500 \times 2 \times 1$	=	0.16	End～R1
	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗		＜ 防護柵 ＞	$-0.100 \times 0.100 \times 1$	=	-0.01	End～R1
	中塗り		＜ 防護柵 ＞	$-0.075 \times 0.075 \times 4 \times 1$	=	-0.02	End～R1
	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗						
	上塗り				小計 =	1.96	
	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗				合計 =	9.65	

添付資料: 塗装仕様詳細

Rc-Ⅲ 塗装系			
塗装工程	塗 料 名	使用量(g/m2)	塗装間隔
素地調整	3 種		4時間以内
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1日～10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	1日～10日

防塵対策工							
数量区分							
プラスト標準作業量	プラスト機吐出量	班構成	囲い内風速	粉塵発生エリア			
40 m2/日	5 m3/min	1 班(3名)	0.01 m/s × 60 s/min	17.62 m3/m			
名 称		単位	算 式		数 量		
プラスト施工日数		日数	9.65 / 40		1 日		
必要送風量		m3/min	17.62 × 0.01 × 60.00 + 5		20 m3/min		
プラスト用養生シート		m2	243.10 + (2.000 + 1.500) × 2 × 4.500 + 2.000 × 1.500 × 2		280.60 m2		
数量区分							
足場床幅	足場床延長	足場床面積	足場高さ	1時間の換気回数	集塵排気装置		
1.80 m	20.55 m	36.99 m2	3.78 m	60分 / 4 回	30 m3/分		
名 称		単位	算 式		数 量		
集塵排気装置(防塵)30 m3/min		台	36.99 × 3.78 / 15 / 30		1 台		
集塵排気装置		稼働		1次フィルター	2次フィルター	HEPAフィルター	チャコールフィルター
30 m3/min(1台)		176 h/月(8 h/日,22 日/月)		1 枚/日・台	1 枚/週・台	1 枚/3ヶ月・台	1 枚/3ヶ月・台
名 称		単位	算 式		数 量		
集塵排気装置(防塵)		ヶ月	1 / 22		1 ヶ月		
集塵排気装置(防塵)用1次フィルター		枚	9.65 / 40		1 枚		
集塵排気装置(防塵)用HEPAフィルター		枚	1 / (22 × 3)		1 枚		
数量区分							
真空掃除機		稼働		1次フィルター	2次フィルター	HEPAフィルター	チャコールフィルター
1台		176 h/月(8 h/日,22 日/月)		1 枚/週・台	1 枚/3ヶ月・台	1 枚/3ヶ月・台	1 枚/3ヶ月・台
名 称		単位	算 式		数 量		
真空掃除機		ヶ月	1 / 22		1 ヶ月		
真空掃除機1次フィルター		枚	1 / 5		1 枚		
真空掃除機HEPAフィルター		枚	1 / (22 × 3)		1 枚		

防塵対策工					
数量区分					
エアシャワー装置設置・撤去	稼働		1次フィルター	HEPAフィルター	
2人以上用(調整含)	176 h/月(8 h/日,22 日/月)		1枚/週・台	1枚/3ヶ月・台	
名 称		単位	算 式		数 量
エアシャワー装置設置・調整・撤去		箇所	1 × 1		1 箇所
エアシャワー装置		ヶ月	1 / 22		1 ヶ月
エアシャワー装置用1次フィルター		枚	1 / 5		1 枚
エアシャワー装置用HEPAフィルター		枚	1 / (22 × 3)		1 枚
数量区分					
班構成	防護服	規 格			
1 班(3名)	2 着/日・人	全 損			
防護服		着	#REF! × 2 × 1		6 着
数量区分					
班構成	防護服	規 格			
1 班(3名)	2 個/日・人	全 損			
シューズカバー		個	#REF! × 2 × 1		6 個
数量区分					
班構成	防護服	規 格			
1 班(3名)	2 組/日・人	全 損			
防護手袋		組	#REF! × 2 × 1		6 組
数量区分					
規 格					
H=2.0m×W=1.5m L=4.5m					
クリーンルーム		台	1 × 1		1 台

橋梁支承工

ジャッキアップ仮設材

レベル1 (工事区分)	橋梁保全工事	レベル2 (工種)	橋梁支承工
----------------	--------	--------------	-------

数量集計表

レベル3 (種別) レベル4 (細目)	レベル5 (規格)	レベル6 (積算要素)	積算用 単位	数量区分					当初設計		内訳 数量表 別紙	備考
									合計			
鋼橋支承工												
コンクリート削孔(電動 ハンマドリル)			孔						6	6.00		
										6.00		
支承取替(鋼橋)			基	支承形式	下部エブラケットの有無				3	3.00		
				I	無し					3.00		
アンカー			本	アンカー材型	削孔方向				6	6.00		
				25mmを超え40mm以下	下方向					6.00		

種別:鋼橋支承工

数 量 計 算 書

No.1

種別・細別	形状・規格	数量	単位	算 出 基 礎				備 考
仮支点部補強材 (鋼材)	山形鋼 L90×90×10 (SS400)	67.35	kg	＜ 鋼重 ＞	$13.3 \times 0.844 \times 2 \times 3$	=	67.35	
	トルシアボルト M22×70 (S10T)	14.12	kg			合計	=	67.35
				＜ 鋼重 ＞	$0.523 \times 9 \times 3$	=	14.12	
				＜ 本数 ＞	9×3	=	27.00	
下地処理	素地調整 2種クレン	46.00	m2	＜ 施工面積 ＞	$0.090 \times 0.844 \times 2 \times 3$	=	46.00	
						合計	=	46.00
現場塗装工	塗装仕様 F-11系	1.37	m2	＜ 施工面積 ＞	$0.090 \times 0.844 \times 3 \times 2 \times 3$	=	1.37	
						合計	=	1.37
養生工	可視可能養生シート 2枚重ね張り	5.76	m2	＜ 施工面積 ＞	$(0.250 \times 2 + 0.400) \times 0.844 \times 2 \times 3$	=	4.56	
				＜ 施工面積 ＞	$0.250 \times 0.400 \times 2 \times 2 \times 3$	=	1.20	
						合計	=	5.76
仮支点部設備	フラットジャッキ 最大揚力:490kN	3.00	基	＜ 使用基数 ＞	1×3	=	3.00	
						合計	=	3.00

橋梁支承工

支承補修工:モルタル打替

レベル1 (工 事 区 分)	橋梁保全工事	レベル2 (工 種)	橋梁補修工
-------------------	--------	---------------	-------

数 量 集 計 表

レベル3 (種 別) レベル4 (細 目)	レベル5 (規 格)	レベル6 (積算要素)	積算用 単位	数 量 区 分					当初設計		内 訳 数量表 別 紙	備 考
支承補修工												
沓座モルタル打替	(とりこわし)	小規模コンクリート はつり工	m3	施工規模	姿 勢				0.25	0.25		
				—	下向き					0.25		
	(修復)	コンクリート (モルタル)工	m3	構造物種別	打設工法	養生工の種類	現場内小運搬の有無	補修材	0.25	0.25		
				小型構造物	人力打設	一般養生	有り	無収縮モルタル		0.25		
	型枠		m2	型枠の種類	構造物の種類				0.2	0.20		
				一般型枠	支承部・連結部					0.20		
	鉄筋		t	鉄筋規格	呼び名または径				0.01	0.01		
				SD345	D13					0.01		

レベル1 (工事区分)	橋梁保全工事	レベル2 (工種)	橋梁補修工
----------------	--------	--------------	-------

数量集計表

レベル3 (種別) レベル4 (細目)	レベル5 (規格)	レベル6 (積算要素)	積算用 単位	数量区分					当初設計		内 訳 数量表 別 紙	備 考
									合計			
支承補修工												
殻運搬	コンクリート殻		m3	殻発生作業					0.25	0.25		
				コンクリート構造物とりこわし						0.25		
				ダンプトラック	積込工法区分	DID区間の有無	タイヤ消耗費	運搬距離				
				2 t 積級	人力積込	無し	良好	14.4km以下				
殻処理	コンクリート殻		m3	殻発生作業	コンクリート殻の種類				0.25	0.25		
				コンクリート構造物とりこわし	無筋コンクリート					0.25		
	単位質量 (2.35t/m3)		t	殻発生作業	コンクリート殻の種類				0.6	0.59		
				コンクリート構造物とりこわし	無筋コンクリート					0.59		

種別: 支承補修工		数 量 計 算 書						No.1		
種別・細別		形状・規格	数量	単位	算 出 基 礎				備 考	
小規模コンクリートはつり工	モルタル・沓座コンクリート	0.25	m3							
	姿勢: 下向き			＜ 施工体積 ＞	モルタル補修体積の算出より	=	0.25			
						合計	=	0.25		
殻運搬	コンクリート殻	0.25	m3							
	無筋			＜ はつり工同様 ＞		=	0.25			
						合計	=	0.25		
殻処分	コンクリート殻	0.25	m3							
	無筋 (単位質量=2.35t/m3)	0.59	t	＜ はつり工同様 ＞		=	0.25			
						合計	=	0.25		
コンクリート工	無収縮モルタル	0.25	m3							
	小型構造物			＜ 施工体積 ＞	モルタル補修体積の算出より	=	0.25			
	人力打設・一般養生					合計	=	0.25		
型枠	支承部・連結部	0.20	m2							
	一般型枠			＜ 施工面積 ＞	型枠面積の算出より	=	0.20			
						合計	=	0.20		
鉄筋	SD345	8.61	kg							
	D13			＜ 鉄筋重量 ＞	鉄筋重量の算出より	=	8.61			
						合計	=	8.61		
アンカーボルト	φ 30×650 SS400	6.00	本							
	M30ナット含む			＜ 鋼材本数 ＞	2×3	=	6.00			
	亜鉛メッキ品					合計	=	6.00		

モルタル補修体積の算出							
支 承	モルタル形状					施工体積 (m3)	備 考
	幅 (mm)	長さ (mm)	面積 (m2)	施工面積 (m2)	厚さ(mm)		
A1-G1			0.150	0.150	30	0.005	とりこわし(はつり)
A1-G1			0.280	0.280	100	0.028	とりこわし(はつり)
A1-G1	525	265		0.139	350	0.049	とりこわし(はつり)
							—
A1-G1			0.190	0.190	30	0.006	修復(モルタル打設)
A1-G1			0.280	0.280	100	0.028	修復(モルタル打設)
A1-G1	525	265		0.139	350	0.049	修復(モルタル打設)
							—
A1-G2			0.150	0.150	30	0.005	とりこわし(はつり)
A1-G2			0.280	0.280	100	0.028	とりこわし(はつり)
A1-G2	525	265		0.139	350	0.049	とりこわし(はつり)
							—
A1-G2			0.190	0.190	30	0.006	修復(モルタル打設)
A1-G2			0.280	0.280	100	0.028	修復(モルタル打設)
A1-G2	525	265		0.139	350	0.049	修復(モルタル打設)
							—
A1-G3			0.150	0.150	30	0.005	とりこわし(はつり)
A1-G3			0.280	0.280	100	0.028	とりこわし(はつり)
A1-G3	525	265		0.139	350	0.049	とりこわし(はつり)
							—
A1-G3			0.190	0.190	30	0.006	修復(モルタル打設)
A1-G3			0.280	0.280	100	0.028	修復(モルタル打設)
A1-G3	525	265		0.139	350	0.049	修復(モルタル打設)
							—
							—
							—
							—
							—
							—
							—
							—
					施工体積内訳	0.246	とりこわし(はつり)合計
						0.249	修復(モルタル打設)合計

型枠面積の算出							
支 承	型枠形状				型枠面積 (m2)	型枠の種類	備 考
	幅 (mm)	長さ (mm)	面積 (m2)	面数			
A1-G1	30	650		2	0.039	一般型枠	
A1-G1	30	430		2	0.026	一般型枠	
						—	
A1-G2	30	650		2	0.039	一般型枠	
A1-G2	30	430		2	0.026	一般型枠	
						—	
A1-G3	30	650		2	0.039	一般型枠	
A1-G3	30	430		2	0.026	一般型枠	
						—	
						—	
						—	
						—	
						—	
						—	
						—	
						—	
						—	
						—	
						—	
						—	
				型枠面積内訳	0.195	一般型枠合計	
						—	

鉄筋重量の算出								
支承	鉄筋径	単位重量 (kg/m)	長さ (mm)	員数	箇所	鉄筋重量 (kg)	鉄筋規格	備 考
A1-G1	D13	0.995	1000	2	1	1.99	SD345 D13	
A1-G1	D13	0.995	220	4	1	0.88	SD345 D13	
	—	—					—	
A1-G2	D13	0.995	1000	2	1	1.99	SD345 D13	
A1-G2	D13	0.995	220	4	1	0.88	SD345 D13	
	—	—					—	
A1-G3	D13	0.995	1000	2	1	1.99	SD345 D13	
A1-G3	D13	0.995	220	4	1	0.88	SD345 D13	
	—	—					—	
	—	—					—	
	—	—					—	
	—	—					—	
	—	—					—	
	—	—					—	
	—	—					—	
	—	—					—	
				鉄筋重量内訳			SD345 D10	
						8.61	SD345 D13	
							SD345 D16～D25	

仮設工

(あと施工アンカー工)

レベル1 (工事区分)	橋梁保全工事	レベル2 (工種)	橋梁補修工
----------------	--------	--------------	-------

数量集計表

レベル3 (種別) レベル4 (細目)	レベル5 (規格)	レベル6 (積算要素)	積算用 単位	数量区分					当初設計		内訳 数量表 別紙	備考
									合計			
仮設工												
あと施工アンカー工	アンカーボルト穿孔及び設置	ステンレス製	本	仕様	拡張部打込み方式	規格・形状			40.00	40.00		
				金属系	本体打込み式	M12×52mm				40.00		
	アイボルト		本	規格・形状					40	40.00		
				M12						40.00		

種別:あと施工アンカー工

数 量 計 算 書

No.1

種別・細別	形状・規格	数量	単位	算 出 基 礎			備 考
アンカーボルト穿孔及び設置	金属系	40.00	本				
	本体打込み式			＜ 吊足場 ＞	20×2	=	40.00
	M12×52mm						
	ステンレス製					合計 =	40.00
アイボルト	M12	40.00	本				
				＜ 吊足場 ＞	20×2	=	40.00
						合計 =	40.00

仮設工

足場工

レベル1 (工事区分)	橋梁保全工事	レベル2 (工種)	橋梁足場等設置工
----------------	--------	--------------	----------

数 量 集 計 表

レベル3 (種別) レベル4 (細目)	レベル5 (規格)	レベル6 (積算要素)	積算用 単位	数 量 区 分					当初設計		内 訳 数量表 別 紙	備 考
									合計			
仮設工												
足場工	タイプ E 片側朝顔防護足場		m2	防護	施工条件				37	36.99		
				シート+板張	—					36.99		
	タイプ F 橋脚周り足場		m2	防護	施工条件				16.8	16.80		
				シート+板張	—					16.80		
	タイプ F 吊足場 床面部シート防護		m2						16.8	16.80		
										16.80		
	タイプ F 吊足場 手摺り部板張り防護		m2						10.8	10.80		
										10.80		
	タイプ F 吊足場 手摺り部シート防護		m2						10.8	10.80		
										10.80		
	タイプ F 吊足場 天井部板張り防護		m2						4.8	4.80		
										4.80		
	タイプ F 吊足場 天井部シート防護		m2						4.8	4.80		
										4.80		

レベル1 (工事区分)	橋梁保全工事	レベル2 (工種)	橋梁防護工
----------------	--------	--------------	-------

数量集計表

レベル3 (種別) レベル4 (細目)	レベル5 (規格)	レベル6 (積算要素)	積算用 単位	数量区分					当初設計		内 訳 数量表 別 紙	備 考
									合計			
仮設工												
防護工	板張り防護		m2						243.1	243.10		
										243.10		
	シート防護		m2						243.1	243.10		
										243.10		

種別:仮設工

数 量 計 算 書

No.1

種別・細別	形状・規格	数量	単位	算 出 基 礎				備 考
足場工	タイプE吊足場	36.99	m2					
片側朝顔防護足場	シート防護			＜タイプ° E＞	1.800×(3.230+17.320)	=	36.99	防護柵補修
足場工	タイプF吊足場	16.80	m2					
橋脚周り足場	シート防護+板張防護			＜タイプ° F＞	0.800×6.000	=	4.80	防護柵補修
				＜タイプ° F＞	1.500×8.000	=	12.00	支承補修
						合計	=	16.80
	タイプF吊足場	16.80	m2					
	床面部シート防護			＜タイプ° F＞	0.800×6.000	=	4.80	防護柵補修
				＜タイプ° F＞	1.500×8.000	=	12.00	支承補修
						合計	=	16.80
	タイプF吊足場	10.80	m2					
	手摺り部板張り防護			＜タイプ° F＞	0.600×6.000	=	3.60	防護柵補修
				＜タイプ° F＞	0.900×8.000	=	7.20	支承補修
						合計	=	10.80
	タイプF吊足場	10.80	m2					
	手摺り部シート防護			＜タイプ° F＞	0.600×6.000	=	3.60	防護柵補修
				＜タイプ° F＞	0.900×8.000	=	7.20	支承補修
						合計	=	10.80
	タイプF吊足場	4.80	m2					
	天井部板張り防護			＜タイプ° F＞	0.800×6.000	=	4.80	防護柵補修
	タイプF吊足場	4.80	m2					
	天井部シート防護			＜タイプ° F＞	0.800×6.000	=	4.80	防護柵補修

種別:仮設工

数 量 計 算 書

No.2

種別・細別	形状・規格	数量	単位	算 出 基 礎				備 考
防護工	板張り防護	243.10	m2	＜ 右側 ＞	$(1.990+2.100+3.780) \times 3.230$	=	25.42	防護柵補修
				＜ 右側 ＞	$0.800 \times 3.780 + 0.500 \times 1.800$	=	3.92	防護柵補修
				＜ 右側 ＞	$0.800 \times 1.990 + 7.01$	=	8.60	防護柵補修
				＜ 右側 ＞	$1.800 \times 0.800 + 0.800 \times 2.430$	=	3.38	防護柵補修
						小計	=	41.32
				＜ 左側 ＞	$(1.990+2.100+3.780) \times 17.320$	=	136.31	防護柵補修
				＜ 左側 ＞	$0.800 \times 3.780 + 0.500 \times 1.800$	=	3.92	防護柵補修
				＜ 左側 ＞	$0.800 \times 1.990 + 7.01$	=	8.60	防護柵補修
				＜ 左側 ＞	$1.800 \times 14.900 + 0.800 \times 2.430$	=	28.76	防護柵補修
						小計	=	177.59
	シート防護	243.10	m2	＜ 連絡通路 ＞	$(2.000+0.800) \times 2 \times 4.320$	=	24.19	防護柵補修
						合計	=	243.10
				＜ 板張り同様 ＞	$41.32 + 177.59 + 24.19$	=	243.10	防護柵補修